

【アゼルバイジャン経済トピック 92 号】

在アゼルバイジャン日本大使館

2022 年 6 月 3 日

### 解放地域の復興開発～ゼンギラン県の状況～

解放地域の最も南西部に位置するゼンギラン県は、イラン(アラス川)及びアルメニアと国境を接し(文末地図参照)、アルメニア領ザンゲズル回廊を経てアゼルバイジャンの飛び地ナヒチバン、さらにトルコへと陸続する新たな物流・経済ルート上にあることから、アグダム県、シュシャ市と並び、特に復興開発事業が注力されている地域です。

5 月 27 日にはゼンギラン県アガリ村において「スマートビレッジ」の完工式が開催されました。このスマートビレッジには、太陽光発電設備や温度管理機能を備えたスマートハウスが 200 軒建設され、全戸に住民が入居しました。道沿いにはスマート街路灯や廃棄物処理を適切に行うための分別ゴミ箱が設置され、医療センターにはテレ・メデシン(遠隔医療)用機材、農地には灌漑システムに関連する最新の機材が整備されました。

完工式に出席したアリエフ大統領は、「アガリ村は解放地域への国内避難民の初めての帰還先であり、今後の住民帰還(Great Return)を加速化するため、他地域でもスマートビレッジの整備を進める」と述べました。

このほか、ゼンギラン県では、本年秋に国際空港が完成予定(フズリ空港に続き解放地域で2番目)であり、また、雇用創出のための縫製工場や農地整備、住民の生活に必要な学校・幼稚園、ASAN(電子政府行政サービスセンター)の整備が進捗中です。

(以上)

【参考:ゼンギラン県の位置】

